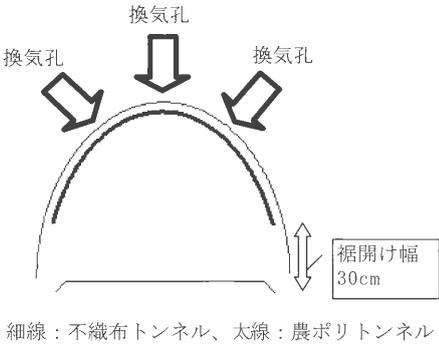
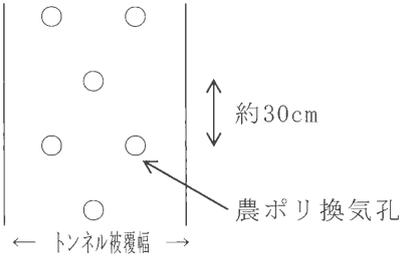


事項	えだまめ「あおり福丸」の5月上旬直播栽培で被覆資材を組み合わせたトンネル被覆を行うと増収する		
ねらい	えだまめ「あおり福丸」の5月直播栽培は他作型に比べて収量性が低いので、トンネル・マルチ栽培について被覆資材を組み合わせて検討したところ、増収効果が確認されたので、参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 5月上旬マルチ直播栽培において、下図のとおり不織布と農ポリを組み合わせたトンネル被覆（以下、「トンネル被覆」と呼ぶ）すると総莢数、上物莢数とも増加し増収する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>トンネル断面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>トンネル上面図（農ポリ換気孔配置）</p> </div> </div> <p>細線：不織布トンネル、太線：農ポリトンネル</p> <p>2 トンネル被覆は播種直後から行い、農ポリ換気孔は被覆時に設置する。</p> <p>3 除覆は、主茎先端がトンネル内面に触れる前に行う。</p> <p>4 低収年におけるトンネル被覆の効果は従来の不織布のみのトンネル被覆の効果を大きく上回る。</p> <p>5 トンネル被覆は無被覆に比較して生育促進効果が得られるが、収穫時期に与える影響は小さい。</p>		
期待される効果	えだまめ「あおり福丸」の安定多収に寄与する。		
利用上の注意事項	除覆後、倒伏の恐れがある場合は、ひも等で適宜倒伏防止処置を講ずる。		
担当部署 (担当者名)	青森県農林総合研究センター畑作園芸試験場 作物改良部 (古川 尊仁)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成18～19年度 青森県農林総合研究センター畑作園芸試験場試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 被覆方法と収量・着莢の比較

(平成18～19年 青森農林総研畑園試)

年次	処理区名	平成18年 (低収年)			平成19年 (多収年)		
		トンネル被覆なし	不織布トンネル	不織布+農ポリトンネル	トンネル被覆なし	不織布トンネル	不織布+農ポリトンネル
調査項目							
総収量(kg/a)		15.9 (100)	44.9 (283)	62.1 (391)	81.4 (100)	92.1 (113)	95.8 (118)
上物収量(kg/a)		6.1 (100)	23.3 (379)	37.0 (602)	49.5 (100)	70.7 (143)	70.9 (143)
収穫時の平均上物莢重(g)		3.3	3.9	4.2	4.2	3.9	3.8
株あたり総莢数(莢/本)		7.2 (100)	13.0 (181)	15.2 (212)	19.9 (100)	22.7 (114)	22.9 (115)
株あたり上物莢数(莢/本)		1.4 (100)	4.5 (318)	6.6 (469)	8.9 (100)	13.8 (155)	14.0 (157)
株あたり下物莢数(莢/本)		5.8	8.5	8.6	11.0	8.9	8.9

(注)1 莢中に不稔粒がなく形状良好の4粒莢、3粒莢、2粒莢を上物とした。
 2 総収量、上物収量、莢数の右脇()内数値はトンネル被覆なしに対する指数
 3 施肥窒素量は全て0.5kg/a、栽植株数は1,333株/a
 4 全てマルチ栽培(グリーン)

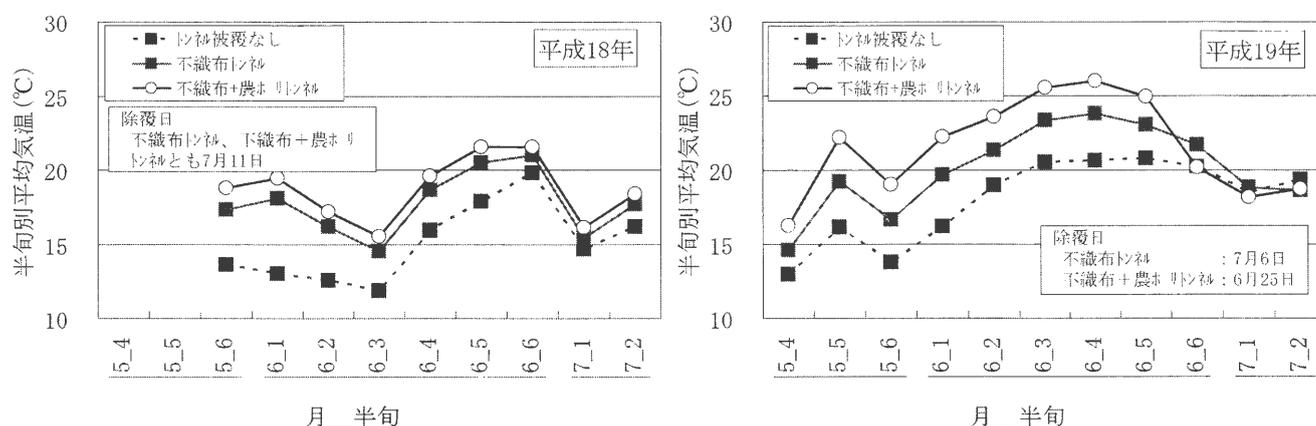


図1 被覆方法と気温の推移 (平成18～19年 青森農林総研畑園試)

表2 被覆方法と生育ステージ (平成19年 青森農林総研畑園試)

処理区名	播種日 (月. 日)	出芽期 (月. 日)	開花期 (月. 日)	収穫日 (月. 日)
トンネル被覆なし	5. 9	5. 21	7. 6	8. 31
不織布トンネル	5. 9	5. 19	6. 29	8. 21
不織布+農ポリトンネル	5. 9	5. 18	6. 28	8. 27

(参考) 使用した各資材の規格・サイズ

- 1 不織布：幅240cm
- 2 農ポリ：幅120cm・厚さ0.05mm
- 3 ポール：長さ220～240cm
- 4 マルチ：9215規格(グリーン)